

アナログプレイヤーの比較試聴(21)

—モーツアルトを聴く(21)—

1. 始めに

前報(20)に引き続き、アナログプレイヤー3機種 of 比較試聴を実施していきます。

2. アナログプレイヤーの比較試聴方法

アナログプレイヤー3機種 of 試聴経路は、ThorensTD124 と Grrad401 の再生経路を変更した前報(18)と同様です。

音源は、モーツアルト of アナログ盤を使用していきますが、今回はヴァイオリン協奏曲です。

DENON OQ-7501-ND

モーツアルト ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調

ヴァイオリン協奏曲第5番イ長調

ジェラルド・ジャリ (Vn)

ジャン・フランソワ・ピヤール指揮ピヤール管弦楽団

3. アナログプレイヤーの比較試聴結果

ZANDEN Model120 経由の LINN LP-12 と ThorensTD124 では、Columbia、逆相、第4時定数 High で聴いていきます。

ThorensTD124 の再生では、DENON の PCM 録音にもかかわらず、さほど音の固さは感じられず、ジャリのヴァイオリンもピヤール管弦楽団もかなりソフトに聴こえますが、もう少し繊細感が欲しいところです。

LINN LP-12 の再生では、ThorensTD124 同様、DENON の PCM 録音にもかかわらず、さほど音の固さは感じられず、ソフトな音調の上に、さらに繊細さも加わってきています。

Grrad401 の再生では、ThorensTD124 同様、DENON の PCM 録音にもかかわらず、さほど音の固さは感じられず、ソフトな音調の上に、勢いのある演奏が楽しめます。

4. まとめ

ThorensTD124 と Grrad401 の再生経路を変更した結果も、3機種3様の再生パフォーマンスが確認できましたが、DENON 盤は PCM 録音にもかかわらず、さほど音の固さは感じられず、ソフトな音調、繊細さ、勢いの良さなど、それぞれの魅

力があります。

以上